

- 問1 日本が主要な輸入先である西アジアから石油を運ぶ海上ルートにおいて、マレー半島とスマトラ島に挟まれた、海上交通の要所となっている海峡の名称を選択肢から選びなさい。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. ホルムズ海峡 | 2. マラッカ海峡 | 3. ボスボラス海峡 | 4. ドーバー海峡 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
- 問2 東南アジアの大陸部中心に位置し、マレー半島の付け根付近まで領土を持つ国の地理的特徴について、正しい説明はどれか。（2023年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. ユーラシア大陸の東端に位置し、ドイモイ政策による経済発展で沿岸部の人口密度が急上昇している。 | 2. マレー半島の先端に位置する都市国家であり、国土全域にわたって極めて高い人口密度を示す。 | 3. チャオブラヤ川流域の肥大な平野や首都周辺に人口が集中しており、人口密度が高い。 | 4. 赤道直下の島嶼部で構成され、ジャワ島などの特定の島に人口が極端に密集している。 |
|---|--|--|--|
- 問3 アジアにおける諸宗教の分布状況について述べた文章として、その背景や特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. イスラム教は西アジアの砂漠地帯のみに分布が限定されており、東南アジア諸国には分布していない。 | 2. 仏教やイスラム教は、歴史的な伝播によって特定の国に限定されず、広範な地域にまたがって信仰されている。 | 3. 仏教は東アジアの特定の島国でのみ信仰を維持しており、アジア大陸部にはほとんど分布していない。 | 4. ヒンドゥー教はインドから東南アジア全域に広まり、イスラム教以上に広範な分布を見せている。 |
|---|---|---|---|
- 問4 中国が「世界の工場」として急速な経済発展を遂げたことは、地球環境にも大きな影響を及ぼしています。1990年から2015年にかけての世界の二酸化炭素排出量の推移をまとめた資料によると、中国の排出割合は10.3%から28.1%へと上昇し、世界最大となりました。この25年間ににおける中国の二酸化炭素排出量の変化として正しいものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 1. 環境対策の進展により、排出量は減少に転じた | 2. 工業化の影響により、排出量は約4.3倍に増加した | 3. 経済発展に伴い、排出量は約2.7倍に増加した | 4. 排出量は微増したが、他国の増加率よりは低い |
|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|
- 問5 アジアNIESに分類される韓国やシンガポールなどが、1970年代から短期間で急速な経済成長を遂げることができた主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 10億人を超える膨大な人口を背景に、巨大な国内市場向けの生産を拡大したため。 | 2. 食料の自給自足を達成するため、工業化を抑制して農業開発を最優先したため。 | 3. 石炭や鉄鉱石などの豊富な地下資源を自国で産出し、その輸出に依存したため。 | 4. 海外の資本や技術を積極的に導入し、輸出を中心とした工業化を推進したため。 |
|---|---|---|---|
- 問6 中国政府が沿岸部の特定の地域を経済特区に指定し、外国企業に対して税制上の優遇措置を与えた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 特定の地域において少数民族の伝統的な文化や言語を保護し、高度な自治を認めるため | 2. 国内の農村部から都市部への人口移動を厳しく制限し、食料自給率を維持するため | 3. 外国製品に対する関税を高く設定することで、国内の伝統的な地場産業を保護するため | 4. 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため |
|--|--|--|---|
- 問7 中国の鉄鋼生産量は、1980年の約1534万トンから2000年の約2787万トン、2020年の約3097万トンへと推移しています。この統計が示す鉄鋼生産の動向と、それに関連する中国の社会状況について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 2000年代以降、鉄鋼生産量は横ばいであり、国内需要はすべて輸入でまかなわれている。 | 2. 沿岸部の工業化が一段落したため、2020年に向けて生産量は急激に縮小している。 | 3. 工業化の進展に伴って鉄鋼生産量は一貫して増加しており、経済成長を支える基礎資材となった。 | 4. 1980年代をピークに生産量は減少に転じており、現在は知識集約型産業が中心となっている。 |
|---|--|---|---|
- 問8 アラブ首長国連邦（UAE）の輸出統計を確認すると、かつて大半を占めていた石油関連以外の品目の割合が増加しています。また、観光収入の急増に合わせてサービス業の割合も上昇していますが、このように国が「脱石油」を進める背景にある理由として最も適切な説明はどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため | 2. 石油の埋蔵量が世界で最も少なく、すでに完全に枯渇してしまったため | 3. 国際社会から石油の採掘を禁止する条約が採択され、産業が禁止されたため | 4. 近隣諸国との紛争により、石油の輸出ルートがすべて封鎖されたため |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問9 中国の農業分布をまとめた資料によると、東部の沿岸地域では稲作や小麦の栽培が広く行われていますが、標高が高い内陸から西部にかけての地域において、自然環境に適応するために最も卓越している農業の形態はどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. 牛や羊などを飼育する牧畜 | 2. 傾斜地を切り開いた茶や果樹の栽培 | 3. 冷涼な気候を活かした大規模な小麦栽培 | 4. 豊富な水を利用した二期作による稲作 |
|-----------------|---------------------|-----------------------|----------------------|
- 問10 アジアとヨーロッパの二つの州にまたがる位置にあるトルコ共和国の地形的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 北西部にアジアとヨーロッパを隔てるボスボラス海峡があり、国土の中央部にはアナトリア高原が広がっている。 | 2. アフリカ東部の高原地帯に位置し、インド洋に面した海岸部から内陸にかけて広大なサバンナが広がっている。 | 3. 南米大陸の赤道直下に位置し、国土の大部分をアマゾン川流域の低地と熱帯雨林が占めている。 | 4. ヨーロッパ中央部の内陸に位置し、北部のアルプス山脈から流れるライン川の支流が国内を貫いている。 |
|--|---|--|--|
- 問11 アジア各地域の産業の特色をまとめた記述のうち、地域名と産業の実態が正しく組み合わされているものを選んでください。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 東南アジア：工業団地への外国企業の進出が進み、電気機械などの生産が盛んになっている | 2. 東アジア（中国東部など）：石油の輸出収益を背景に、大規模な海水淡水化プロジェクトを主導している | 3. 西アジア：英語を話せる豊富な人材を背景に、IT産業やコールセンターが増加している | 4. 北アジア（ロシア付近）：天然ゴムや木材の生産から、電気機械の生産拠点への転換が最も早く進んだ |
|--|--|---|---|
- 問12 南アジアに位置し、1億人を超える人口を抱えるインドでは、季節風（モンスーン）が気候に大きな影響を与えています。この地域で吹く季節風の方向について、夏と冬の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 夏は北東から、冬は南西から吹く | 2. 夏は南西から、冬は北東から吹く | 3. 夏は南東から、冬は北西から吹く | 4. 夏は北西から、冬は南東から吹く |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 マラッカ海峡	マレー半島とスマトラ島の間にあるこの海峡は、インド洋と太平洋（南シナ海）を結ぶ最短ルート上に位置しています。日本が西アジアから輸入する石油の大部分を載せたタンカーがここを通過するため、日本の経済にとって極めて重要な「シーレーン（海上交通路）」の一部となっています。
問2	答え 3 チャオプラヤ川流域の肥大な平野や首都周辺に人口が集中しており、人口密度が高い。	タイは東南アジア大陸部の中央に位置する国です。中央部を流れるチャオプラヤ川流域は広大な平野となっており、古くから稲作が盛んで人口を支えてきました。特に政治・経済の中心である首都バンコクとその周辺部では、工業化の進展も相まって人口密度が非常に高くなっています。選択肢にあるドイモイ政策はベトナム、島嶼部の特徴はインドネシア、マレー半島先端の都市国家はシンガポールの説明です。
問3	答え 2 仏教やイスラム教は、歴史的な伝播によって特定の国に限定されず、広範な地域にまたがって信仰されている。	アジアの宗教地図を見ると、ヒンドゥー教がインドに、ユダヤ教が西アジアの一部に集中しているのに対し、仏教やイスラム教は、歴史的な交流や布教活動を通じてアジア各地に広まりました。その結果、多くの国々で主な宗教として定着し、国境を越えた広い分布を示すようになりました。
問4	答え 2 工業化の影響により、排出量は約4.3倍に増加した	中国は工業化の進展に伴い、石炭を中心としたエネルギー消費量が爆発的に増加しました。1990年時点での世界の二酸化炭素排出総量は約205億tでしたが、2015年には約323億tまで増加しており、その中で中国の占める割合の拡大（10.3%から28.1%へ）を計算すると、排出量自体は約4.3倍という極めて高い伸びを示しています。これは新興国の発展が環境負荷の増大と密接に関係していることを示しています。
問5	答え 4 海外の資本や技術を積極的に導入し、輸出を中心とした工業化を推進したため。	アジアNIESの国や地域は、外資（海外の企業の資金）や先進的な技術を積極的に取り入れ、自国で製造した製品を海外へ輸出することで経済を拡大させる「輸出指向型」の工業化政策を採用しました。これにより、資源が少ない中で急速な発展を可能にしました。広大な国土や膨大な人口、豊富な地下資源に頼る成長モデルとは異なるのが特徴です。
問6	答え 4 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため	当時の中国は、経済を活性化させるために国外の資金や優れた技術力を取り入れる必要がありました。そのため、沿岸部の都市を窓口として開放し、外国企業が活動しやすい環境（インフラの整備や税制優遇）を整えることで、輸出拡大と国内産業の近代化を目指しました。これは「改革・開放」政策の根幹をなす取り組みです。
問7	答え 3 工業化の進展に伴って鉄鋼生産量は一貫して増加しており、経済成長を支える基礎資材となった。	1980年代から2020年にかけての数値の推移は、中国が持続的に経済規模を拡大させてきた過程を裏付けています。鉄鋼は自動車製造、機械産業、建築業などのあらゆる工業分野で不可欠な素材であるため、その生産量の増加は、中国における重化学工業の発展と密接に結びついています。
問8	答え 1 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため	石油資源は有限であり、国際情勢による価格変動が激しいため、それだけに依存することは経済的な不安定さを招きます。UAEは将来を見据え、観光や金融、航空などのサービス業を育成することで、石油がなくても国が成り立つような「脱石油」の仕組みづくりを急いでいるのです。
問9	答え 1 牛や羊などを飼育する牧畜	中国の地形は「西高東低」と呼ばれ、西に向かうほど標高が高くなる特徴があります。特にチベット高原や内陸の乾燥地帯では、耕作に適した土壌や水資源が不足しているため、家畜を飼育する牧畜が主要な産業となっています。これに対し、標高が低く、降水量が多い東部の平野部では、南側で稲作、北側で小麦の栽培といったように、自然条件に合わせた農作物の作り分けが行われています。
問10	答え 1 北西部にアジアとヨーロッパを隔てるボスボラス海峡があり、国土の中央部にはアナトリア高原が広がっている。	トルコは北西部のボスボラス海峡によってアジア側とヨーロッパ側に隔てられており、歴史的に東西文化の接点となってきました。また、国土の大部分を占めるアジア側はアナトリア半島と呼ばれ、その中央部にはアナトリア高原という広大な高原地帯が形成されています。
問11	答え 1 東南アジア：工業団地への外国企業の進出が進み、電気機械などの生産が盛んになっている	東南アジアは、外国企業の誘致による工業化が顕著な地域です。西アジアの特色は石油収益による都市開発であり、IT産業やコールセンターの増加は南アジア（インド）の特徴です。北アジアは主にエネルギー資源や森林資源の供給源としての側面が強く、工業製品の生産拠点への転換は東南アジアの説明として適切です。
問12	答え 2 夏は南西から、冬は北東から吹く	南アジアから東アジアにかけての地域では、季節によって風向きが逆になる季節風（モンスーン）が見られます。インド付近では、夏はインド洋から湿った空気を運ぶ南西の風が吹き、多くの雨をもたらす雨季となります。一方、冬はユーラシア大陸から乾燥した空気を運ぶ北東の風が吹くため、乾季となるのが特徴です。